

以下のデータは、英辞郎 Ver. 175 で追加された全データのごく一部です。  
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

## コンピューター／インターネット

- cross-save {名} : クロスセーブ◆ゲームのユーザーのデータ（進行状況・集めたアイテムなどの記録）を他のデバイスでも利用可能な形でセーブ（保存）すること。例えば、別の種類の二つのゲーム機で、同じ一つのセーブデータを共有できる場合。
- hard-to-diagnose bug : 《a ~》原因究明が難しいバグ
- off-site data storage : オフサイト・データ・ストレージ◆（ネットワークを経由しての）遠隔地へのデータ保存。災害などで手元（社内など）のデータ・手元のバックアップが失われても、それを復元できるメリットがある。半面、「接続トラブルで一時的にバックアップができなくなる・潜在的に情報漏洩の原因が増える」といった特有のリスクを伴う。
- source code repository : ソースコード・リポジトリ◆ソフトウェア開発者が共同でソースコードを作成・修正・共有するための場所（サイト）。
- switch to a different network provider : 他のネットワーク（接続）プロバイダーに切り替える、プロバイダーを乗り換える
- take a social media break ; take a break from social media : ソーシャルメディアを使うのを一時休止する◆「時間の無駄・ストレスの原因になっている」と感じられる場合など◆【参考】digital detox

## 医学

- congenital limb deficiency : 《病理》先天性四肢欠損症◆【同】dysmelia◆【略】CLD
- eco-irresponsible {形} : 環境保全について無責任な、生態系への（悪）影響について無頓着な◆【反】eco-responsible
- eco-responsible {形} : 環境保全について責任を持つ◆【反】eco-irresponsible◆【参考】eco-friendly
- medical consent form : 《a ~》治療 [医療 (行為)] 同意書◆「その治療法のリスクと利益、結果の不確実性、他の選択肢について説明を受け、納得した上でお願いする」という趣旨の書面。「本人（子どもの場合、保護者）が同意しない限り、その治療法を押し付けられない」という仕組みにすることで患者の権利を保障するとともに、起こり得る合併症などに関して、一定範囲で医療関係者を免責する意味を持つ。◆【参考】informed consent form
- medically unexplained symptoms : 医学的に説明できない症状◆【略】MUS
- seizure signal : 発作信号◆てんかんなどの発作時に脳波などで観測される特徴的な電気信号（脳波）。
- somniferous drug : 催眠剤◆睡眠を誘発する薬物。

## その他

- all talk and no walk : 《be ~》口先ばかりで行動が伴わない
- as selfish as ever : 《be ~》相変わらず自分勝手 [わがまま] である
- bishie {名} : 〈俗〉〔漫画・アニメなどに登場する〕美少年 (キャラ) ◆【語源】日本語「美少年」を略した bishi から。-ie は、親しみを込めた呼称を作る語尾 (sweet に対する sweetie や cute に対する cutie と同様)。◆可算
- cart corral : 《a ~》〈米〉カート置き場◆囲い・仕切りがしてあって、ショッピング・カートを並べて置けるようになっているエリア。食料品店など (の駐車スペース) に設けられているもの。通常、客はここからカートを取って買い物に使い、用が済んだらカートをそこへ戻す。
- chalk ~ up to youthful foolishness : ~を若気の至りと解釈する [いうことにしておく] ◆「若さゆえのむちゃ」と大目に見る場合など
- cheapflation {名} : チープフレーション◆企業が商品の価格を据え置いたまま、品質を低下させたり、数量を減らしたりすることによって、コストを抑える現象。消費者から見ると、値上げになる。◆【参考】greedflation ; ripflation ; shrinkflation ; skimpflation
- continued downtrend : 《a ~》〔経済 (指標)・相場などの〕継続する下降傾向
- costly city : 《a ~》物価の高い都市、住むのにお金のかかる都市
- could have gone the other way : 別の展開もあり得た、際どい結果であった、どっちに転んでもおかしくなかった◆考えられる二つの展開 (成功と失敗など) のうち一方になったが、他方になる可能性も十分にあった。
- couldn't have gone better : 〔過去の出来事などが〕この上なくうまくいった、これ以上 (望みよしの) ない最高の展開であった◆【参考】go well
- crappy coffee : 〈話・やや下品〉まずい [味の悪い・品質の悪い] コーヒー
- decades out of date : 《be ~》〔考え方・制度・ファッションセンスなどが〕何十年も時代遅れである
- disaster magnet : 《a ~》やたらと運が悪い人◆【直訳】災害の磁石 ⇒ (磁石が鉄を引き寄せるように) まるで不運を引き寄せるようだ
- dishie {名} : 〈話〉〔飲食店などの〕食器洗いの担当者、皿洗い◆可算◆【同】dishwasher
- do anything to save one's own hide : 保身のためなら [わが身かわいさに] 何でもする、(なりふり構わず) 自己保身を最優先する◆自分が助かりたい一心で、例えば仲間を裏切ったり、偽証して他人に罪を押し付けたりすること。
- duathlon {名} : デュアスロン◆可算◆トライアスロンから水泳を除いたようなスポーツ (競技) のイベント。コースは 3 区間から成り、足で走り、自転車で走り、再び足で走る。◆【参考】triathlon ; biathlon
- fleeting gratification : つかの間の満足、刹那的な喜び
- fringe theory : 《a ~》非主流派の理論、現在の標準理論とは異なる学説◆「疑似科学・不合理な説」などの否定的ニュアンスを持つことが多い。大陸移動説のように、最初は嘲笑された非主流派の仮説が、後に正しい理論と認められる場合もある。◆【参考】fringe science
- gastrodiplomacy {名} : ガストロディプロマシー、美食 [料理] 外交◆国家が自国の伝統的料理や食文化を活用して、他国との関係を深めたり、国家のイメージを高めたりするための外交

活動を指す。◆【語源】 gastronomy (美食) + diplomacy (外交)

■gullible personality : だまされやすい性格◆聞いたことを何でも疑わずに信じる場合など

■have great mood swings : 気分変動が大きい [激しい]

■hug pillow : 《a ~》抱き枕

■human rights concern : [独裁政権下などにおける] 人権に関する懸念、人権問題◆通例、human rights concerns

■ice shaver : 《an ~》かき氷機

■ignominiously {副} : 屈辱的に、屈辱のうちに、恥ずべき [(大いに) 不名誉な] こととして

■in the mid-oughts [mid-noughties] : 00年代 (の) 中頃に◆例えば2003~2007年頃

■inscribe a circle in a triangle : 三角形に内接する円を描く

■not-so-understanding boss : 《a ~》あまり物分かりの良くない上司

■on one's way to bankruptcy : 《be ~》破産への道をたどっている、破産 [倒産] 寸前である

■orbit around a common barycenter : [二つの天体などが] 共通重心の周りを回る

■pay off a cop : 〈話〉警官を買収する、警官に賄賂を渡す◆例えば違反を見逃してもらう場合

■resale certificate : 《a ~》再販証明書◆「再販 (小売り) のために商品を購入する」ということを示す書類。最終顧客が売上税 (消費税) を払う制度の国・地域において、免税での仕入れを可能にするためのもの。

■scheduled down to the minute : 《be ~》分単位 [分刻み] で予定が組まれている◆イベント・綿密なスケジュールなど

■self-immolate {vi} ; immolate oneself : 焼身自殺を図る◆政治的問題・弾圧などへの抗議として、行われることがある。救急搬送され一命を取り留める場合もあるが、死ぬ可能性が高い。

■shitty coffee : 〈卑俗〉くそまずい [劣悪な品質の] コーヒー

■talk big with nothing to back it up : 裏付けとなる事実 [実力] がないのに大きなことを言う、口 (先) では大きな [偉そうな] ことを言うが実力 [実行力] を伴わない

■taste nasty : ひどい [とんでもない] 味がする、まずい◆料理・食品など。調理に問題がある場合や、その人の好みに合わない場合。

■trolley bay : 《a ~》〈英〉[食料品店などの] カート置き場◆【参考】cart corral

■untapped genius : 《an ~》天才的素質の持ち主だがまだ覚醒 [本領を発揮] していない人、眠れる天才

■wiser {名} : 《the ~》察知する者、気付く人◆こっそりやること・秘密などについて◆

【用法】no one や nobody などと組み合わせて「誰にも悟られない・認識されない」という趣旨の文を作る。◆【参考】none the wiser ■・No one would have been the wiser ^had you not [if you had not] said anything. あなたが何も言わなかったなら、誰にも気付かれなかったでしょう。／黙ってれば、誰にもばれずに済んだのに…。

■within someone's wheelhouse : 〈米話〉(人) の得意分野 [守備範囲] で、(人) の管轄下で

◆【参考】 wheelhouse

■would never do that : (何があっても) 絶対そんなことをしない、そんなことをする人ではない◆性格・信条・行動パターンなどについて

## 略語

■ACI : =acute coronary ischemia●《病理》急性冠動脈虚血

■BMS : =bone marrow stimulation●骨髄刺激

■JSO : =jet stream olfactometry●噴射式基準嗅力検査

■LOW : =lateral orbital wall●眼窩側壁

■LTP : =laryngotracheoplasty●《外科》喉頭気管形成術

■UDW : =ultrapure deionized water●脱イオン超純水◆不純物をほぼ完全に除去した高純度の水。

■ZPG : =zero population growth●人口ゼロ成長◆ある地域や国において出生率と死亡率がほぼ等しくなり、結果的に人口が増減しない状態。

## 例文集「例辞郎」

■A gentleman is, rather than does. : 紳士とは、紳士的に振る舞う人というより、紳士の心を持つ人のことだ。／本物の紳士は「紳士的に振る舞おう」などと考えない。／紳士は行いより、人となり。◆ことわざ。内面の本質(善良な気質)と、外形的行動(紳士気取り)を区別する。

■I want to be free to speak my mind. : 私は、本心[本音・思っていること・自分の考え]を自由に[遠慮なく率直に]言いたい[話せるようになりたい]。◆【場面】自由に意見を述べられない環境にいる人が自分の内なる声や真の感情を抑制せずに言いたい、または、発言の制約から解放されたいと望んでいる。

■I've been meaning to ask (you). : 前から聞こうと思ってたんだけど…。◆【場面】質問の前置き。ずっと疑問に思って(好奇心を抱いて)いた事柄などについて。

■Listen to what you're saying. : 何、ばかなこと言ってるんだよ。／よく言うよ。◆【類】 Listen to yourself.

■Mark me surprised. : こいつは驚きだ。／驚いたな。◆【類】 Color me surprised.

■There is something off. : 何だか不審な点があります[感じがします]。／何かがおかしい。

◆【類】 Something is off.

■This is not the time for jokes [joking]. : 冗談を言っている場合ではありません。

■You must think I was born yesterday. : 私はそんな見え透いたうそを信じるほど、うぶ[世間知らず]ではありませんよ。／人をばかにするにも程があるぞ。◆【直訳】あなたは、私が昨日生まれたと思っているに違いない。⇒ 乳幼児相手でもない限り、そんなごまかしは通用しない。